

越谷市自治基本条例 子ども版パンフレットの活用状況（令和7年度）について

1 子ども版パンフレットの概要

第1期越谷市自治基本条例推進会議からの報告書「自治基本条例の実効性を確保するための課題について（平成23年2月）」において、条例の若い世代への普及の取組みの一つとして、「小学校高学年を対象とした分かりやすい表現で解説したパンフレットの作成・配布」に関する提言があり、小学校6年生を主な対象として作成したもの。

2 配布について

(1) 配布目的

次代のまちづくりの担い手である子どもたちに「自治基本条例」に対する理解を深めてもらう。

(2) 配布対象

市内小学校6年生全員（令和7年度…2,738人）

(3) 配布物

- ・越谷市自治基本条例パンフレット【子ども版】
- ・越谷市自治基本条例条文

3 授業での活用について

(1) 活用方法

社会科公民分野の政治に関する単元において、国民生活に国や地方公共団体のほたらきが反映されていることを学ぶ際、自治基本条例を活用する。

※ 教員に指導の参考資料（逐条解説・活用に係る留意事項等）を配布

※ 授業後、子ども版パンフレットの活用状況に関するアンケートを実施

(2) 令和7年度の活用実績（活用状況に関するアンケートの集計結果）

アンケート回収数 29校／29校※ [前年度] 29校／29校

			[R6年度]
①授業で活用した学校数	<u>29校／29校</u>		[29校]
②授業での平均取扱い時間	<u>60.4分</u>		[53.4分]
③資料の配布状況	パンフレット	<u>29校</u>	[28校]
	【子ども版】	<u>／29校</u>	/29校]
	自治基本条例条文	<u>25校</u>	[27校]
		<u>／29校</u>	/29校]

※ 学校別活用状況の詳細は、次頁以降をご参照ください。

越谷市自治基本条例 子ども版パンフレットの活用状況アンケート結果(令和7年度)

		平均	合計							
		60.4	29 ／ 29	25 ／ 29						
No.	小学校	時間 (分/クラス)	配付物 子ども版 条文		活用状況	学習成果	感想	その他		
1	越ヶ谷	17.5	○		◇川口市の子育て支援の仕組みを通して市政について学習する時間に、子どもたちが住む越谷市の地方自治の仕組みを解説する際に参考として活用した。	◇教科書で学ぶ知識だけでなく、自身の住む町に関心を持つことができた。政治の学習をより身近に感じ、意欲的に学習に取り組むことができた。	◇まちの条例について考える機会はありませんだったので、良い機会になった。 ◇読んで何となく意味は分かったが、政治は細かい条例があり、難しいところもあると思った。	◇政治には難解な語句が多いため、用語の説明があると、子ども自身も復習しやすいと感じた。 ◇この単元は「自治基本条例」を勉強する時間ではないので、本資料の活用は正直難しいと感じた。		
2	大沢	90	○	○	◇社会科(公民分野)の学習において、地方自治体の導入として活用した。パンフレットを用いて地方自治の意味や市民の役割について理解を図り、教科書の内容と関連付けながら越谷市の取組みについて考えさせた。併せて、条文の一部を提示し、内容の比較を通して理解を深めた。	◇自治基本条例が市のまちづくりの基本となる考え方であると理解することができた。また、市民の一員としてまちづくりに主体的に関わる意識を高めることができた。	◇市の決まりが生活を支えていることが分かった。 ◇子どもでも意見を伝えることができると知った。	◇具体例やイラストが分かりやすく、児童が身近な問題として捉えやすい資料だった。		
3	新方	45	○	○	◇わたしたちの生活と政治「国の政治のしくみと選挙」という学習単位の中で、国会の働きや法律について学習した際、私たち越谷市民の生活の中にも様々なきまり(条例)が定められていることに触れ、子ども版パンフレットを活用した。条文を読みながら、越谷市自治基本条例は住みよい越谷市の実現のために制定されていることを確認した。	◇普段の生活の中で、私たちの暮らしの中に法やきまりがあることをあまり意識していなかった児童にとって、条例に興味・関心をもつ良いきっかけとなった。住民投票について書かれた条文では、授業で学習した国民主権と関連付けながら、理解を深めることができた。	◇近年、選挙で投票する人が減っていることや、特に若い世代の投票率が低く政策に偏りがあることに気付くことができた。条例などは自分たちの生活に関わるからこそ、関心を持つことが大切であると発言する児童の姿が見られた。 ・「身の回りに様々な法やきまりがあるのは、自分たちが安心して生活を送ることができるようにするためとわかった」「条例の大切さがわかった」等の感想があった。			
4	桜井	60	○		◇市民の声を生かした政治を学ぶ際に、パンフレットを活用し、越谷市にも市民の声を政治に生かす制度があることを学習した。	◇教科書の中だけでなく、自分達が住む越谷市でも、同様の取組みがあると実感を持つことができた。	・越谷市でも特産や市民のことを考え、行政が行われていることに驚いた。 ・行政により興味を持つようになった。			
5	大袋	45	○	○	◇単元「子育て支援の願いを実現する政治」で地方自治について学ぶ際に、模擬選挙を行い、架空の市議会議員を決めた。そしてその議員が地方自治にどのように関わるのかを教科書の内容と合わせながら学習した。児童と一緒に条例を考える学習の時間を設け、越谷市の条例として市民が積極的に関わる「越谷市自治基本条例」を紹介した。市で児童が中心となる取組みや行事が行われていることに気付かせ、この条例の内容と照らし合わせた。	◇自分たちの身の回りにある取組みや行事がこどものための条例を基に行われていること、こどもが意見を提案したり、取組みや行事に参加できることを具体的にイメージできた。また、越谷市の条例に興味を持ち、条例や越谷市の様々な取組みについて進んで調べていた。学習の中でも地方自治や政治に関する用語を多く用いて、地方自治を自分事として考えるきっかけになった。	◇越谷市の行事や取組みが、「越谷市自治基本条例」と関わって行われていたと知り、自分の生活をより良いものに行っていることに気付くことができた。 ◇意味が分かると面白い。だから、これからも調べてみようと思った。			
6	荻島	45	○	○	◇小単元「子育て支援の願いを実現する政治」の学習において、教科書ではさいたま市が取り上げられているが、子どもたちにとって一番身近な越谷市ではどのような取組みがなされているのかを調べるために活用した。「教科書の施設ではこのようになっている」「教科書にある市議会の役割はこのようになっている」「では、越谷市ではどのようなようになっているか」をパンフレットを活用し、調べさせた。その後、どんな「まちづくり」にもルールが必要であることをおさえ、必要なルールについて話し合わせ、よりよい越谷市にするために、一人ひとりが「まちづくり」に参加するための意欲をもたせるよう指導した。最後に学んだことに対するまとめを行った。	◇教科書で扱われているさいたま市の子育て支援施設「あいぱれっと」は子どもたちにとって身近なものではなく、自らの生活と密接な関わりがあるとは感じにくいと思われる。子ども版パンフレットを使用することで、実際に自分の暮らしている市町村ではどのような仕組みで政治が行われているのかを理解することができ、より深い学びとなった。	◇教科書で扱われているさいたま市と越谷市の比較をした際に、越谷市と同じだという意見が多かった。「まちづくり」に必要なルールについて話し合わせたことで、より身近に考えることができた。また自分たちの暮らしている越谷市の自治組織についてもわかった。市民一人ひとりの声が「まちづくり」に反映されており、自分達も18歳になったら選挙に行って「まちづくり」に参加したいという児童の声が多く聞かれた。	◇子ども版パンフレットのおかげで、児童は越谷市のまちづくりについて理解することができた。また、パンフレットを活用したことで、「調べたい」という意欲をもたせることもできた。児童にとってなかなか馴染みのない政治が、身近で自分達の暮らしに大切なことであると感じることができ、よかった。		
7	出羽	30	○	○	◇越谷市で行われている様々な「まちづくり」について調べ、これからの「まちづくり」で自分たちができることを考えた。 ◇市にどんな取組みがあるのか越谷市自治基本条例子ども版パンフレットを活用して調べた。 ◇これからの越谷市にはどんな取組みが必要かグループで考えた。	◇自分の生活圏での活動を知り「まちづくり」が身近なものだと知ることができた。 ◇越谷市に自治基本条例があり、誰もが楽しくいきいきと幸せに暮らすことができるようにまちづくりに取り組んでいる方々がたくさんいることに気付いた。自分たちができそうなこととして「清掃活動」「あいさつ運動」「市民まつりに参加」を挙げるなど、よく考えていた。	◇自分たちが知らないところでいろいろな取組みがあって、子どもたちを守ってくれていることがわかり、うれしかった。 ◇こしがや田んぼアートは見に行ったことがあり、毎年楽しみにしている。			
8	蒲生	180	○	-	◇国民主権についての内容理解を深めるため、パンフレットを活用して市の取組みについて知る機会を作った。	◇市政への参加を考える契機の一つとなった。また、社会への学習意欲を高めた。	◇市の取組みを初めて知った。 ◇市の取組みに参加したい。			

No.	小学校	時間 (分/クラス)	配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
9	大相模	15	○	-	◇「地方公共団体の政治の働き」の中でパンフレットにふれた。	◇地方公共団体の政治に関心をもつことができた。	◇社会科見学でより政治について学ぼうと思った。 ◇市や町それぞれにしっかりときまりやルールがあることが分かった。 ◇越谷市の政治について学べてよかった。 ◇国と同じように市にもきまりがあることが分かった。	
10	増林	60	○	○	◇「子育て支援の願いを実現する政治」の単元で、さいたま市の事例とともに越谷市の自治基本条例に触れた。	◇自分たちの市なので関心をもって取り組んでいた。	◇「その条例、知っている」「田んぼアート、見た」など	
11	川柳	15	○	○	◇市議会の内容や条例の使われ方などを説明する際に、越谷市ではこども版パンフレットというものがあることを紹介した。また、市民と市が連携しながらまちづくりを行っていることを気付かせる上での資料としても活用した。	◇越谷市では市、市民、市長が協力してまちづくりが進められているということに気付いた。また、他の団体とも連携しながらまちづくりを進めていること、自分達もまちづくりをしていく一員であるということに気付き、今後の生活で活かしたいと考える児童もいた。	◇越谷市には様々な条例があり、私たちの生活を支えてくれているんだと思った。 ◇自身も市民の一員として、まちづくりに貢献していきたい。	
12	南越谷	27	○	○	◇市役所の働き、市議会の働きの学習を行うときに活用した。 ◇社会の「私たちの生活と政治」の単元にて、自治に関する内容の際にパンフレットを活用した。憲法、法律等、国単位での決まりがある中で、条例の意味や内容についてパンフレットを読み合わせて理解を深めた。	◇自分たちが住んでいる市の条例や市役所、市議会について詳しく書かれており、自分事として興味関心をもつことができた。 ◇越谷市の条例について分かりやすくまとめられていたため、こどもたちも興味をもって学ぶことができた。市民と市役所、市議会がつながっていることの復習(確認)をすることができた。	◇市民の声(願い)が市政に反映されていることがわかった。 ◇レイクタウンも市の政治や税金が関わっていると初めて知ることができた。 ◇税金が使われているところを具体的にイメージできた。 ◇投票に行くことの大切さを知った。 ◇自分が住んでいる市の条例について、知ることができてよかった。	
13	東越谷	45	○	○	◇市の行政(市役所・市議会の働き)についての学習の際、市民の願いを基に政治が行われていることを教科書内にある自治体を例に学習した。その中で、私たちの町・越谷市では、どのような条例が定められているのか考えた。	◇教科書内の学習だけでなく、自分の住む町の条例を実際に手に取り見ることが出来、身近に感じられたと思う。		
14	大沢北	135	○	○	◇小単元「暮らしの中の国民主権」「市役所の働き」で活用し、実際にどんな条例があるのかを知る活動で活用した。	◇学習後、各自治体独自の条例があることをテレビなどで知り、自主学習などを書いてきたり、日常の会話の中でも越谷市にはこんな条例があるなどの話題があがるようになった。	◇越谷市にこんな条例があるのだと初めて知ることができたよかった。 ◇自分たちもまちづくりをしている一員なのだと自覚することができた。	
15	大袋北	90	○	○	◇二つの単元で扱うことができた。一つ目は「私たちの暮らしと日本国憲法」の学習で、市では国民主権の考えをどのように反映させているのかを調べるときに活用できた。二つ目は、「子育て支援の願いを実現する政治」の学習で、越谷市ではどんな取り組みや考えのもとに政治を行っているのかを考えるとときに活用した。	◇他の市の取り組みではなく、自分たちの住む越谷市のことを調べられるということで、意欲をもって学習することができていた。	◇越谷市がみなさんのために用意してくれたよ、と伝えたらとても喜んでいった。絵が多い「こども版条例パンフレット」の方をよく読んでいた。	
16	蒲生南	15	○	○	◇政治「震災復興の願いを実現する政治」の単元の最後のまとめる時間に使用した。これまでに学んだことと関連させ、越谷市も市民の要望や願いを叶えるために、様々な取り組みをしてまちづくりを進めていることをパンフレットを読んで確認した。また、越谷市の特産品や自治について説明する際に活用した。	◇越谷市の詳しい説明がパンフレットの始めのページに記載されていて、3学年で学習した越谷市の学習をふり返るよい機会であった。イラストで内容がわかりやすく感じた児童も多くいた。また、総合的な学習の時間で「越谷市の未来」について学習していることにも関連付けることができた。	◇パンフレットを読んで、越谷市は市民やこどもを大切にするまちづくりをしていることがわかった。 ◇越谷市の伝統工芸や特産品、面積や人口などについて知ることができた。 ◇市の木や花、鳥やマンホールなどは日頃から見ていきたい。市民が参加できる取り組みがあるので参加したい。 ◇自治基本条例の意味を知ることができた。 ◇越谷市には、たくさんの伝統や歴史があることがわかった。	
17	北越谷	52.5	○	○	◇自治体ごとに条例が定められているという内容を学習する中で、わたしたちの住んでいる越谷市ではどのような条例があるのかをパンフレットを参考に確認した。 ◇憲法、法律と同じように地方自治体にもルールがあるという導入で活用した。	◇自分たちの身近に条例があること、それらはわたしたちの暮らしをよりよくするためにあることを、こどもたちが実感できていた。 ◇越谷市の条例から埼玉県条例へと考えを広げ、それぞれの地域に認められている地方自治の大切さについて考え、学習をまとめることができた。	◇「自分たちもまちづくりに参加しているのだと感じた」「越谷市の条例を初めて知った」という声が多かった。 ◇越谷市でも代表者が話し合っ条例をつくっていたことを初めて知ったという意見が多かった。他にも、選挙をやっていることは知っていたが、市民の意見を取り入れて条例をつくる仕組みを知ることができてよかったという意見もあった。	

No.	小学校	時間 (分/クラス)	配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
18	大袋東	20	○	○	◇本校6学年では、「子育て支援の願いを実現する政治」ではなく「震災復興の願いを実現する政治」を取り扱った。そこで、単元の最後に「子育て支援の願いを実現する政治」について教科書を読んで確認する時間を取り、「公園づくり」について考えるページをもとに政治の学習のまとめを行った。その際に「越谷市自治基本条例こども版パンフレット」と「自治基本条例の条文」を活用することで、児童は越谷市でも市民の願いをもとにしたまちづくりが行われていると学ぶことができた。	◇児童には4月当初から「自治的なクラスをつくろう」と話している。学校生活の基本である「ルールやきまり」が社会でも大切にされていると知り、小さな社会(学校)での学びが未来に繋がっていると実感する機会になった。 ◇教科書(さいたま市の事例)では、生活との関連を見出しにくい面もあるが、市の条例を通じて同様の取組みが身近にあることを実感し、自分たちこそがまちづくりの主人公という自覚をもつことができた。 ◇教科書で学んださいたま市の税金について、「越谷市はどうなっているのかな」という児童の疑問に沿って、資料を扱いながら授業を展開することができた。 ◇地域の施設の運営や行事などが市民の願いと市政によって実現していることが分かり、国民主権や基本的人権の尊重が児童のくらしにどのように反映されているか理解できた。 ◇学校に規則があるのと同じように、市には条例があることを知った。地域への関心が高まったほか、条例や規則を守ることの大切さを再確認できた。 ◇まちづくりも学校と同じように皆で意見をまとめ、よりよい暮らしの実現に向けて取り組んでいると学ぶことができた。 ◇教科書ではイメージしにくい税金や人口についてより身近に感じられた。 ◇条例や市の取組みなど、自分たちが暮らす街について詳しく学ぶことができた。	◇「越谷市こども憲章」というものを知り、自分たちが市民として大事にされていることが分かった。 ◇市民まつりに行っているが、それがまちづくりへの参加になっていると知り、嬉しかった。 ◇家に帰って、おうちの人と一緒に読みたい。 ◇社会で学習した憲法や条例が、越谷市の条例にも反映されていることを知った。 ◇こどもでも年齢に応じて市政に参加できることがあると知って驚いたし、どんな参加の仕方があるのかが知りたい。 ◇条例にもあるように、越谷市の自然や古い文化などを大切にしていきたい。 ◇市長の仕事も条例で定められていたことを初めて知った。市民のためにいろいろな仕事をしていると知って嬉しかった。 ◇まちづくりのためにいろいろな取組みがあることがわかった。 ◇市民、市議会、市長が協力してまちづくりを進めていることがわかった。 ◇市民が主人公としてまちづくりに取り組んでいることがわかった。 ◇もう少し、人口の減少に対応してほしいと思った。	
19	平方	45	○	○	◇市町村のまちづくりや行政の在り方について、国や都道府県と比較し、違いや共通点から考える学習で活用した。国や都道府県がより大きな方針や大規模な事業に関して国民・県民のために活動するのに対し、市はより細やかに市民に向き合うこと、市民が主体的に政治に参加することについての大切さを理解できるように活用した。また、自分たちも越谷市のまちづくりの主体(主権者)であることを理解するために活用した。(主権者教育)	◇自分たちの住む越谷市でも、自分たちの生活がより良いものになるために決まり(条例)があり、市議会を中心に自分たちも政治に参加していることを理解することができた。国会・内閣という国のレベルの内容が、より身近な越谷市に置き換えて考えることで、理解しやすくなった。同時に、比較して共通点や違いを見つける活動もできた。	◇市民祭りや田んぼアートなども、越谷市の取組みであることが分かった。(一人ではなく市で協力していることがわかった) ◇日本国憲法と同じように、越谷市にも自治基本条例というルールがあることがわかった。 ◇自分たちの住む町を、自分たちでよくしていくことが大切だと思った。 ◇国会と同じように、越谷市でも市議会で話し合って決めることがわかった。 ◇自分たちもまちづくりに参加していくことができることを知った。 ◇自分たちも越谷市のためにできることがあるのかなと思った。	
20	弥栄	60	○	○	◇公民の「子育て支援の願いを実現する政治」の単元で、市議会の働きを学ぶときに併用した。教科書版ではさいたま市が例に挙げられていたのので、私たちが住む越谷市の条例はどうなっているのかを調べるときに配布した。	◇私たち市民一人ひとりの要望が、まちづくりの発展につながっていることに気付くことができた。		
21	大間野	180	○	○	◇政治の役割、県や市が市民からどのような願いを受けて働いているかについて学習する場面で活用した。	◇自分たちの住んでいる市ではどのようにまちづくりが進められているのか知ること、政治について興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいた。	◇地方分権について知ることができた。 ◇まちづくりのことが少しだけ分かったような気がする。 ◇自分たちの住む町の条例や特色がよくわかった。 ◇田んぼアートや市民まつりといったイベントが、政治につながっていることが不思議に思うとともに身近に感じた。 ◇「自治基本条例」には市民みんなでまちづくりをしていくためのルールが書かれていることがよく分かった。 ◇市民まつりや花いっぱい運動など、自分たちにも参加できそうな活動もあったので、参加してみたい。	

No.	小学校	時間 (分/クラス)	配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
22	宮本	15	○	○	◇「わたしたちの生活と政治」の単元内で、日本国憲法や国の政治の仕組みについて学習した際に活用した。その後、自分たちが暮らしている越谷市ではどのようなまちづくりが実際に行われているのかを調べる際にパンフレットを活用した。	◇教科書で学習内容を理解した後、「こども版パンフレット」や「自治基本条例の条文」を用いて学習したことにより、実際に自分たちの住む越谷市でも同じように政治が行われていることを実感し、理解することができた。 ◇越谷市がまちづくりとして実際に行っていることを知ることができた。	◇越谷市の政治での取組みが分かった。 ◇越谷市での他の取組みはどのようなものがあるのか調べてみようと思った。 ◇改めて越谷市が様々な取り組みをしていると知ることができた。 ◇越谷市の政治に興味をもつことができた。	
23	西方	15	○		◇教科書で扱われていた「条例」について、こども版パンフレットを参考に、どんなものなのか、他のものとの違いについて学習する際に活用した。 ◇日本国憲法や各法律の系統性を学ばせる際、憲法や法律を自治基本条例と比較させた。	◇身近に感じづらい日本国憲法の学習も、パンフレットの活用で共感しながら学習することができた。 ◇法律や条例は一種の階層構造になっているが、上位のものほど抽象的に文が書かれている。そのことを踏まえ、児童が越谷市民としてその取組みを具体的に理解することができた。 ◇田んぼアートや市民まつりなどがまちづくりの取組みだと知らない児童も多かったため、何が「まちづくり」にあたるのか、越谷についてさらに深く考え、知ることができた。	◇パンフレットの内容が分かりやすく、法律や条例がまちづくりにどのように関わっているか理解できた。 ◇イラストがあって分かりやすい。 ◇教科書に載っていないことも知ることができて嬉しい。 ◇「市民まつりや田んぼアートなど、身近で楽しく参加できていたものが、まちづくりの一環だったことを知らなかった」という意見が多かった。	
24	鷲後	45	○		◇越谷市の条例を例に出し、国民主権への取組みを取り上げた。	◇越谷市にも国民主権の取組みがあることを理解し、政治の主役は国民であることを学んだ。	◇取組みについて知ることができてよかった。	
25	明正	180	○	○	◇「私たちの暮らしと日本国憲法」の学習の際に活用した。条例は市の決まりであり、越谷市にも条例があることを学んだ。	◇市民と市、市議会のつながりが図で分かりやすく説明しており、理解が進んだ。	◇「自治基本条例」は、よりよいまちにしていこうための大切なルールだということが分かった。 ◇市民まつりや放課後こども教室など、当たり前に参加していたものも、さまざまな人によるまちづくりの一環ということが分かった。	
26	千間台	45	○	○	◇教科書P56「ひろげる」において、越谷市のまちづくりへの取組みの調べ学習を行った。	◇条例や市の働きについて、自分たちの体験や経験、知っていることから、実感を伴って学ぶことができた。	◇地元の千間台西夏まつりも市から支援があって成り立っているのかなと思いました。	
27	桜井南	90	○	○	◇内容の確認 ◇越谷市の地理の復習 ◇教科書の内容と見比べ ◇関係のある条例とその意味のまとめ ◇他児童と交流	◇社会の一員としての準備について ◇必要性や意識化 ◇保護者との会話のきっかけ	◇市町村により、独自の条例があることを知った ◇条例の意義については、友だちと自分で捉え方に違いがあって、勉強になった	
28	花田	45	○	○	◇市議会の働きを学習する際に、越谷市ではどんな取組みをしているか具体的に学習するためにパンフレットを活用した。	◇越谷市にも市議会としての役割や条例があることを知り、より政治に興味をもって学習していた。 ◇自分の住んでいる市の取組みを知ることができ、より政治を身近に感じられたり関心を高めたりすることができた。		
29	城ノ上	45	○	○	◇単元名「わたしたちのくらしと日本国憲法」の「まとめる」の授業で、越谷市の取組みと日本国憲法の関わりを調べ、まとめる活動を行った。パンフレットにあるイベントが、日本国憲法の三つの原則のうち、どれと関わりがあるのか考え、まとめた。	◇教科書には兵庫県尼崎市の取組みが載っていたので、身近な越谷市の取組みを調べることで、児童にとって身近なイベントや市の取組みと日本国憲法と関わりを理解し、学んだことをより深め、自分事として考えることができた。	◇自分が体験したことがあるイベントと日本国憲法の原則が関わっていることを知り、日本国憲法の原則が身近な生活と関わっていることをより理解できた。	◇昨年度もパンフレットを活用させていただきました。毎年、ありがとうございます。